カーペットメンテナンス

カーペットメンテナンス

カーペットは、適切なメンテナンスを行えば、その快適性を長く保つことができるすぐれた床材です。メンテナンス方法を知ることは、カーペットの寿命を延ばすことにつながります。

メンテナンス効率が良く、トータルコストが経済的

メンテナンスは、カーペットのライフサイクルコスト（商品の耐用寿命が尽きるまでに要する総費用）の中で最も大きな比重を占めます。カーペットは他の床材に比べてメンテナンス費用が比較的安価なため経済的です。特に防汚性に優れたウールは、優れたクリーニング効果と洗浄効果を備えています。欧米の調査では、どの市場でもクリーニング回数が最も少なくてすみ、その費用は硬質床材の約60%ですむと報告されています。

メンテナンスプログラム

シミやパイル糸の破損、ヘタリ、色落ち、汚れ、たばこの焦げ跡など美観度を損なう原因はたくさんあります。少しでも長く美しく使用するためには日常の手入れと、使用条件に応じた定期クリーニングが必要です。クリーニングの頻度は、カーペットの汚れに比例します。そのため、カーペットに蓄積されるゴミの量の増加にともなった、より強力なメンテナンスプログラムを実行しなければなりません。プロのクリーナーと契約を結んでいる場合や、自社でメンテナンス・スタッフを抱えている場合がありますが、いずれにしても適切で定期的なメンテナンスがカーペットの寿命を延ばし、全体の美観を保つのです。

表1　美観度推移グラフ①

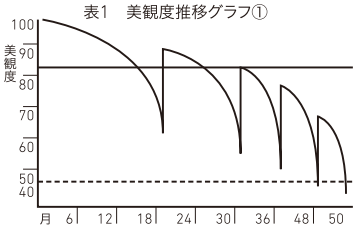
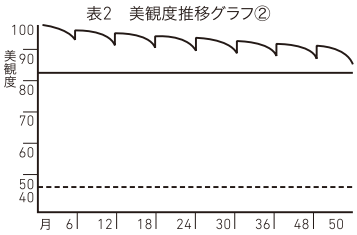


表2　美観度推移グラフ②



- 表1のように汚れが目立つようになったからクリーニングするという考え方であれば、人がきれいだと感じる（優良ゾーン）のはカーペットを新品に張り替えた時からせいぜい1~1年半位である。その後は年2回程度のクリーニングを実施していたとしてもその美感度はどんどん低下していってしまい、誰が見ても汚い状態（不快ゾーン・劣悪ゾーン）での使用を余儀なくされ、わずか4年程度で張替を検討しなくてはならない事態となる。
- 表2のようにカーペットメンテナンスの基本的な考え方は、いつもお客様がきれいと感じる状態（優良ゾーン）にカーペットの美観を長年にわたって継続させることである。

※一般財団法人日本繊維製品消費科学会「繊維製品消費科学」2013年1月号より

カーペットの美観を維持するために

1. 美観を維持するため、電気掃除機による日常メンテナンスを行ってください。
2. 業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて定期メンテナンスをお勧めします。土砂の持ち込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持ち込まれないようにご注意ください。
3. 汚れが付着した時は、汚れが広がらないよう注意しながら、すぐに拭きとってください。時間が経過すると除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
4. パイルがほつれた時は、伝染を防ぐため、ただちにハサミでカットしてください。
5. コンクリート壁面を流れ落ちる結露水は、パイルを変色させたり、カビを発生させる原因となります。こまめに換気するなど、結露を防ぐ工夫をしてください。
6. 長時間直射日光があたる場所では、パイルが変退色する可能性があります。カーテン、ブラインドなどで日よけをしてください。
7. メンテナンスには、必ずカーペット用の中性洗剤を使用してください。塩素系の洗剤を使用すると、パイルが変退色することがあります。
8. 防虫剤・殺虫剤・消毒剤を直接カーペットに散布すると、パイルが変退色することがあります。

カーペットメンテナンス

カーペットの構造特質によるご注意

「くも」現象

「くも」は、パイルの毛倒れが不規則に起こったため、光線の方向によってパイルの色合いが変化して見える現象をいいます。
国会議事堂、ホテルや会館など様々な場所で発生の事例があります。 この現象は、糸の素材（天然繊維、合成繊維）や製造方法にかかわらず発生し、更には、カーペットに限らずいす張り地や衣料など、カットパイル物に共通して起こるものといわれています。カットパイルカーペットは施工され使用され始めると、歩行などにより、パイルの一本一本の糸はからむ・倒される・押しつぶされる・しごかれるなど、色々な変形作用を受けます。
こうして、方々に生じた糸のからみやもつれが進行していくことにより、パイルの毛倒れが不規則に起こり、「くも」現象となります。ただし、カットパイルカーペットなら必ず起こるかというとそうでもありません。
この現象は、洋服の肘が光る、シートや椅子張地などの背もたれが淡色に見えるなどと同様、起毛された繊維製品には避けられない現象でありますが、カーペットの物性及び耐久性には影響を与えるものではありません。
発生原因は解明されていませんが、カットループまたはフリーズ糸タイプ使いや、色、デザインの選択により目立ちにくくする方法もあります。

遊び毛

カーペットが新しい時には、製造工程中でパイルの中に残された繊維屑が表面に現われることがあり、これを「遊び毛」といいます。「遊び毛」は、パイルを構成している繊維のごくわずかな部分で、電気掃除機を掛けることで簡単に除去することができます。この現象も、カーペットの物性および耐久性に影響を与えるものではないのでご安心ください。

環境条件による変退色

直射日光によって変退色・変質の可能性があります。
特に紫外線についてご注意ください。
排気ガスに含まれる窒素酸化物（NOX）等の酸化ガスにより床材が変色する事があります。特に、後染ナイロンを使用したカーペットは影響を受けやすく、又、湿気がある場所では変色が促進されることがあります。
化学薬品や強い作用をもつ洗剤・漂白剤等により変退色や変質する可能性があります。